

「犯罪に加担しないために」～読み原稿～

【スライド1（開始）】



犯罪に加担しないために

- 昨今、少年が匿名・流動型犯罪グループに関与し、凶悪な犯罪を実行する事案が相次いでおります。
- 匿名・流動型犯罪グループは、特殊詐欺や薬物の密売など治安上の課題となっている犯罪の多くに深く関わっており、私たちの平穏で安全な暮らしを脅かす存在となっております。
- 先日、栃木県内において発生した強盗殺人等事件も、匿名・流動型犯罪グループ、いわゆる「トクリュウ」による犯行の可能性があり、関係都府県において鋭意捜査が進められているようですが、本日は、皆さんが、今後も「トクリュウ」に関わることなく、幸せな人生を送るために知っておいていただきたいことについてお話しします。

【スライド2（導入）】

本日のテーマ

△ トクリュウの危険性 △ 大麻乱用の危険性



- 本日、お話しするテーマは

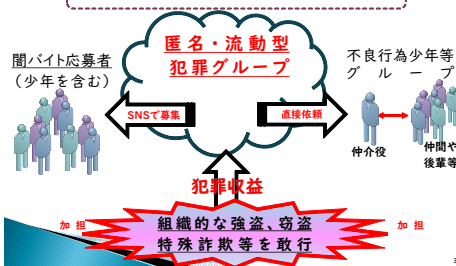
- ◆ いわゆる「トクリュウの危険性」
- ◆ トクリュウの資金獲得犯罪の一つでもあり、若年層を中心に社会問題化している「大麻乱用の危険性」

について、北海道警察から提供された情報をもとにお話しします。

【スライド3（トクリュウ）】

● 匿名・流動型犯罪グループの危険性

暴力団や準暴力団などの背後組織が存在



- まずは、「トクリュウの危険性」です。

- 「トクリュウ」は、詐欺や強盗等、各種資金獲得活動により得た収益を吸い上げている中核部分は匿名化されており、また、「X（エックス）」等のSNSや求人サイトを通じるなどして、緩やかに結びついたメンバー同士が役割を細分化させ、その都度、いわゆる「闇バイト」への応募者を末端の実行犯として、言わば「使い捨て」にするなど、メンバーを入れ替えながら多様な資金獲得活動を行っています。
- また、少年が特殊詐欺の受け子などとなった経緯を見ると、知人等からの紹介によるものが約6割であるなど、地元の先輩・後輩であったり、深夜徘徊等の不良交友で繋がりをもった顔見知りなど、そうした人間関係を利用し、末端の実行犯を集めている実態も見られます。（次ページに続く）

(前ページからの続き)

- 「トクリュウ」は、末端の実行犯に対して、最初は簡単な案件を紹介して報酬を支払ったりしますが、それは信用させるための「餌（えさ）」で、その後、凶悪な犯罪に加担するよう求めてきます。
- もしも、「トクリュウ」からの要求を断ったり、離脱しようとしたりすると、入手した個人情報を基に執拗に脅迫し、恐怖心を植え付けて離脱を阻止してきます。
そして、より凶悪で高収益な犯罪に加担するよう指示してきます。
それは、警察に逮捕されるまで続きます。
- そうした凶悪犯罪で獲得した収益は、「トクリュウ」に吸い取られ、その一部が暴力団の背後組織に流れていると見られています。

※ここでマウスをクリックすると、点線で囲んだ部分がフェードインします。

【スライド4（トクリュウ）】

- 匿名・流動型犯罪グループの危険性

闇バイトの特徴

特徴 ①

仕事内容を明らかにせず、**高額な報酬**をSNSに掲示

特徴 ②

応募した後、**匿名性の高いアプリ**へ誘導される

特徴 ③

運転免許証や顔写真など**個人情報の送信**を求めてくる

- いわゆる「闇バイト」ですが、「トクリュウ」が資金を獲得するために使い捨てにする、特殊詐欺の「受け子」や「出し子」、薬物の運搬などの末端実行犯を集める違法な求人情報を指します。
- 「闇バイト」の特徴としては、「X（エックス）」等のSNSが使用され、「運びの仕事」、「ホワイトバイト」等、楽で簡単な仕事であることを強調し、「高収入」、「日給5万円から」等、高額な報酬を示唆して「受け子」等を募集し、応募者を犯罪に加担させます。
- また、首謀者、指示役、実行役の間の連絡手段には、匿名性が高く、メッセージが自動的に消去される仕組みを備えた「テレグラム」や「シグナル」といった通信手段を使用するなど、犯罪の証拠を隠滅しようとする手口が多く見られます。
- さらには、応募者の離脱を阻止するために、あらかじめ運転免許証や自分の顔写真を送るよう求めてきます。送信してしまうと、指示に従わなければ自分や家族に危害を加えられるなど脅されてしまい、逃れられず、犯罪に加担させられ、逮捕されるまで抜け出せなくなります。

【スライド5（トクリュウ）】

● 匿名・流動型犯罪グループの危険性

【事例】

① SNSで「高額収入」との投稿を見て知り合った相手に免許証の写真を送信。誘われた仕事が犯罪になると思い断ったが、個人情報をもとに脅され、捕まるまで犯罪に加担させられた

② 先輩に誘われ、「受け子」をしたが、報酬は一度も支払われることなく逮捕された

「闇バイト」は若者を「使い捨て」にする

○ 「闇バイト」で犯罪に加担してしまい、検挙された事例を照会します。

○ ①については、まさに今お話ししたパターンです。

②については、「高額な報酬」を餌に犯罪に加担したものの、結局、報酬を受け取ることもできないまま、犯罪を重ねた末に逮捕されたという例です。

○ 「トクリュウ」にしてみると、「闇バイト」や「地元の人間関係」から、犯罪の実行役を探すことはたやすいことで、自らは直接手を出さず、若者を脅迫等で縛り付けて犯罪に加担させ、報酬も支払わず、最後は使い捨てにします。

これが現実であり、「トクリュウ」に関わることの危険性であると言えます。

【スライド6（トクリュウ）】

● 匿名・流動型犯罪グループの危険性

闇バイトで人生を棒に振らないために
知っておくべき5つのこと

1 必ず捕まります

2 先輩、友達からの誘いでも応じてはいけません

3 銀行口座やスマホを売ってはいけません

4 外国に渡航すれば、二度と戻れなくなるかもしれません

5 今なら、まだ引き返せます

○ 最後に、警察からのメッセージをご紹介します。

それは、「闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき5つのこと」です。

○ まず1つめは、犯罪に加担すると「必ず捕まる」ということです。

警察では、令和7年中に「トクリュウ」によると思われる事件で、1万2,000人以上を検挙しています（うち少年は1,300人以上）。

たった一度でも犯罪に手を染めると、必ず捕まっています。

そして、その先には重い刑罰が待っていることも忘れてはいけません（強盗致死～死刑又は無期拘禁刑）。

○ 2つめは、「先輩、友達からの誘いでも応じてはいけない」ということです。

先ほどもお話ししましたが、「トクリュウ」は誰でもいいから身代わりとなる、都合の良い使い捨てを集めているだけです。

○ 3つめは、「銀行口座やスマホを売ってはいけない」ということです。（次ページに続く）

(前ページからの続き)

銀行口座の売買や、スマホ、SIMカードを勝手に売買することは犯罪になります。

話を持ちかけられても、絶対に応じないでください。

最初は単なる儲け話でも、その後、犯行グループから逃れられなくなります。

- 4つめは、「外国に渡航すれば、二度と戻れなくなるかもしれない」ということです。

「海外で儲かる仕事がある」と誘われ、海外渡航した結果、犯罪に加担させられる事件も発生しており、渡航先で監禁されるケースもあります。

内容に合わない高額な報酬が提示されるなど、少しでも怪しいと感じる仕事には、絶対に手を出さないでください。

- 最後、5つめは、「今なら、まだ引き返せる」ということです。

万が一、「闇バイト」に応募し、個人情報を送ってしまい脅されたとしても、すぐに110番をしてください。警察は、あなたと周りの方の安全を守ってくれます。

警察でこのような呼びかけを行ってから、その人を保護した案件は約700件に上りますが(R6.10～R8.5末)、これまで保護された方々は、誰一人として襲われていません。

危険を感じたら、迷わず110番することを覚えておいてください。

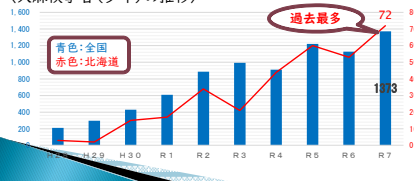
【スライド7 (大麻)】

● 大麻乱用の危険性

- ・アサ科アサ属である大麻草から作られる薬物
- ・ガンジャ、クサ、ハッパ等と呼称
- ・麻薬及び向精神薬取締法で所持、施用、譲受・譲渡等が禁止



〈大麻検挙者(少年)の推移〉



- 次のテーマは、「大麻乱用の危険性」についてです。

- 大麻は、大麻草から作られる薬物で、マリファナと呼ばれる乾燥大麻、ハシッシュと呼ばれる成分を抽出して固まった状態にした大麻樹脂、ハシッシュオイルと呼ばれる液体大麻などがあります。

日本では、クサ、ハッパなどが一般的な呼び名となっています。

- 大麻は、麻薬及び向精神薬取締法で所持、施用(せよう)、譲受・譲渡等が禁止されています。

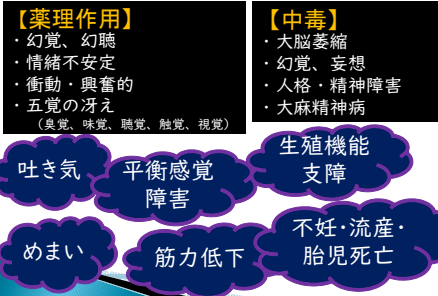
もともと、大麻は所持等が禁止されていましたが、令和6年に法律が改正され、施用についても禁止されました。(次ページに続く)

(前ページからの続き)

- 近年、全国的に少年の大麻による検挙者が急増しており、昨年は全国、北海道ともに、過去最多の検挙者（全国：1,373人 全道：72人）となっており、少年の大麻の乱用拡大が憂慮すべき状況となっています。

【スライド8（大麻）】

● 大麻乱用の危険性



- 大麻乱用の危険性ですが、大麻を使用すると、視覚、聴覚などの感覚が過敏になり、集中力が欠けたり、感情が不安定になったりします。
- このため、興奮状態になり、暴力的行為を行ったり、幻覚や妄想に襲われたりするなどの精神障害が現れるようになります。
- また、大麻を施用すると、吐き気、めまい、筋力の低下、平衡感覚の障害などが現れるほか、生殖機能に支障をきたし、不妊、流産、胎児の死亡などの影響が現れることがありとされています。

【スライド9（大麻）】

● 大麻乱用の危険性

インターネット上の風評では…

「大麻は身体に害がない」
「少ない量なら依存症にはならない」
⇒ これらの情報はすべて**間違いです**

○ 集中力が欠ける
○ 感情が不安定で興奮状態に
○ 幻覚や妄想に襲われる
○ 精神障害が現れる
⇒ これらが**正しい情報です**

- 少年を始め、若年層に大麻の乱用が拡大している背景には、インターネット上の風評が影響しているとも言われています。
- その風評とは、「大麻には有害性がない」、「少ない量なら依存症にならない」といった、誤った情報のことです。
これらは誤った情報です。
- 大麻の成分は、脳に作用し、情緒不安定になり、スライドにあるとおり、様々な悪影響を心身に及ぼします。
- また、初めは少ない量しか使わなくとも、使い続けるうちに自分でコントロールできなくなり、気付かないうちに大麻依存症になってしまうこともあります。
これらが正しい情報です。

【スライド10（大麻）】

● 大麻乱用の危険性

インターネット上の風評では…

「他人に害はないし、自己責任だから問題ない」



- 大麻の所持、施用等
⇒ 7年以下の拘禁刑
- なぜ厳しく規制されているのか
⇒ 家族・周囲への悪影響

10

- インターネット上では、「他人には害がないのだから、後は自己責任」といった考えを主張する意見もあるようですが、これは大きな間違いです。
- 大麻の乱用は、個人の健康被害ばかりでなく、家庭や社会にも重大な悪影響を及ぼします。
- そもそも、日本で大麻は、違法薬物として法律で厳しく規制されており、スライドにあるように重い罰則が科せられ処罰されます。
- それは、大麻を始め薬物乱用がもたらす心身への悪影響が、時として人を精神的に不安定にさせ、殺人や全く無関係の第三者を巻き込む重大な人身事故等、悲劇的な事件を起こす引き金になったケースがいくつもあるからです（殺人、傷害、人身交通事故等）。
だからこそ、厳しく規制されているのです。
- もし、あなたが警察に捕まったとして、家族や大切な方は何も感じないでしょうか。
信頼して仕事を任せてくれていた会社の方は、どう思うでしょうか。
また、逮捕された人を雇っていたとして、世間から目を向けられる会社のダメージはいかほどでしょうか。
- 先輩や友達に誘われ、一時の興味本位で一度でも手を出してしまうと、もう後には戻れません。
そうならないためにも、人として、一社会人として、絶対に大麻、薬物には手を出さないという強い意志を、日頃から持っていたきたいと思います。

【スライド11（終了）】

最後に、今後の幸せな人生のために…

犯罪に加担しながらも、より凶悪な犯罪に加担する前に引き返したケースもあります。いつの段階であっても、警察に相談することが「あなた」や家族を救うことになります。

警察は相談を受けた「あなた」や「あなたの家族」を確実に保護します。

一刻も早く「**#9110**」に電話して警察に相談してください。



11

- 最後に、警察からのメッセージをご紹介します、私の話を終わりにさせていただきます。
- 犯罪に加担しながらも、より凶悪な犯罪に加担する前に引き返したというケースもあります。
いつ、どの段階であっても、警察に相談することが、「あなた」や「あなたの家族」を救うことになります。
- 警察は相談を受けた「あなた」や「あなたの家族」を確実に保護します。
万が一、困ったことがあれば、警察相談専用電話「**#9110**」に電話し、相談をしてください。
(終了)